

伊根の舟屋群

イントロダクション

伊根湾の 5km の海岸には約 230 軒の舟屋が並び、この村の景色に日本で唯一の特徴的な美しさを与えています。これらは船のドックとして機能するように建てられており、それぞれの舟屋は直接海に面するように路が開けられています。今でも伊根の舟屋の多くは同じように使われています。住まいは独立していて通常は舟屋の後ろにあります。今日の伊根の舟屋では 2 階は追加の生活場所や、収納場所として使用されています。

伊根の舟屋は重要伝統的建造物群保存地区に選定されており、その貴重な外観を維持するために、特別な注意が払われています。これらの多くの建物は、燻されたスギの板と暗い色の瓦屋根で作られています。

囲むような伊根湾の地理的性質こそが、これらの船屋が海の非常に近くに建てられた主な理由です。伊根湾の狭い入り江は日本海から離れた場所で南向きになっており、小さな島によって保護されています。潮の干満は 1 日約 30cm、年間の海面差はわずか 70cm ほどで、とても穏やかな海です。

歴史

伊根には 5 世紀ごろから人が住み始めたようですが、もともとは沿岸の山の中腹に定住していたようです。魚介類は住人にとって常に重要な食料源でしたが、漁業をよりしやすいように海の真横に家を移し、舟屋を建て始めたのは 18 世紀になってからのことでした。

元々伊根の舟屋は茅葺き屋根で、壁が内向きに傾斜し漁網を吊るすのに十分な高さをもった木造の平屋だったのです。そして 19 世紀後半に伊根の舟屋を再建する際により近代的な工法が採用され、そして現在の伊根の舟屋はより大きく、真っ直ぐな壁をした瓦屋根の建物になっています。現存する最古の舟屋は 19 世紀半ばに建てられたもので、ガイドの同伴のもと、中に入ることも可能です。

伊根での過ごし方

伊根に住む人たちは何世代にもわたって海沿いに住んでおり、この地域は観光客に非常に人気がありますが、これらの舟屋の大部分は私有地となっています。訪れる際にはこの地域に住む人たちのプライバシーを尊重し、許可なく敷地に入ったり写真を撮影することはしないようにしてください。

また、いくつかの舟屋はゲストハウスとなっており、伊根湾を見渡しながリラックスした夜を過ごすこともできます。クルーズ、レンタサイクル、ウォーキングツアーなども提供されており、伊根を訪れる人はさらにこの地域を探索することができます。地元の漁師との釣り、魚をさばいたり、浮き玉などの編み体験など、水産業に関連するさまざまなアクティビティを楽しめます。漁に出た漁船は早朝に戻り、これらの魚は市場に出荷

される前に人々に直接販売されます。また舟屋の里公園には見晴らしの良い展望台や、地元で獲れた新鮮な魚介類を提供するレストランもあります。